

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2019年8月13日
【四半期会計期間】	第20期第2四半期（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）
【会社名】	リネットジャパングループ株式会社
【英訳名】	RenetJapanGroup, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 黒田 武志
【本店の所在の場所】	愛知県大府市柵山町三丁目33番地
【電話番号】	0562-45-2922
【事務連絡者氏名】	取締役 山根 秀之
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中村区平池町四丁目60番12号 グローバルゲート26階
【電話番号】	052-589-2219
【事務連絡者氏名】	取締役 山根 秀之
【縦覧に供する場所】	リネットジャパングループ株式会社 名古屋本社 （名古屋市中村区平池町四丁目60番12号 グローバルゲート26階）

株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2019年5月15日に提出いたしました第20期第2四半期（自2019年1月1日至2019年3月31日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項に基づき、本四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、三優監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態の分析

(2) キャッシュ・フローの状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第19期 第2四半期 連結累計期間	第20期 第2四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 2017年10月1日 至 2018年3月31日	自 2018年10月1日 至 2019年3月31日	自 2017年10月1日 至 2018年9月30日
<省略>			
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	285,852	<u>1,316,186</u>	401,717
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	284,156	96,768	<u>790,375</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	13,152	<u>825,546</u>	1,055,554
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	762,627	<u>595,630</u>	<u>1,190,337</u>

<省略>

(訂正後)

回次	第19期 第2四半期 連結累計期間	第20期 第2四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 2017年10月1日 至 2018年3月31日	自 2018年10月1日 至 2019年3月31日	自 2017年10月1日 至 2018年9月30日
<省略>			
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	285,852	<u>1,314,786</u>	401,717
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	284,156	96,768	<u>794,626</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	13,152	<u>820,571</u>	1,055,554
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	762,627	<u>587,804</u>	<u>1,186,086</u>

<省略>

第2【事業の状況】

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態の分析

(訂正前)

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,161,607千円となり、前連結会計年度末に比べ1,110,464千円増加いたしました。これは主に、カンボジア事業による車両販売事業が伸長したこと、及びCHAMROEUN MICROFINANCE PLC.の子会社化により営業債権が増加したことにより、現金及び預金が593,603千円減少したものの、売掛金が1,458,201千円増加したことなどが主な要因であります。

<省略>

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,193,256千円となり、前連結会計年度末に比べ405,550千円増加いたしました。これは短期借入金が309,168千円、未払金が61,796千円それぞれ増加したことなどが主な要因であります。固定負債は1,654,231千円となり、前連結会計年度末に比べ276,395千円減少いたしました。これは長期借入金が247,079千円減少したことなどが主な要因であります。

<以下省略>

(訂正後)

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,161,607千円となり、前連結会計年度末に比べ1,110,464千円増加いたしました。これは主に、カンボジア事業による車両販売事業が伸長したこと、及びCHAMROEUN MICROFINANCE PLC.の子会社化により営業債権が増加したことにより、現金及び預金が597,178千円減少したものの、売掛金が1,458,201千円増加したことなどが主な要因であります。

<省略>

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,521,572千円となり、前連結会計年度末に比べ518,520千円増加いたしました。これは短期借入金が220,196千円、1年内返済予定の長期借入金が91,305千円それぞれ増加したことなどが主な要因であります。固定負債は1,325,916千円となり、前連結会計年度末に比べ389,366千円減少いたしました。これは長期借入金が249,377千円減少したことなどが主な要因であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は1,316,186千円(前年同四半期は285,852千円使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益237,796千円、売上債権の増加額1,462,697千円があったことなどによるものであります。

<省略>

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は825,546千円(前年同四半期は13,152千円獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出334,124千円があったものの、株式の発行による収入809,970千円、短期借入金の純増額294,397千円及び長期借入れによる収入100,000千円があったことなどによるものであります。

(訂正後)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は1,314,786千円(前年同四半期は285,852千円使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益237,796千円、売上債権の増加額1,462,697千円があったことなどによるものであります。

<省略>

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は820,571千円(前年同四半期は13,152千円獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出343,305千円があったものの、株式の発行による収入809,970千円、短期借入金の純増額298,603千円及び長期借入れによる収入100,000千円があったことなどによるものであります。

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,455,633	862,030
売掛金	882,840	2,341,042
商品	248,088	263,865
貯蔵品	8,212	8,323
営業貸付金	1,360,655	1,564,642
その他	131,083	151,963
貸倒引当金	35,370	30,260
流動資産合計	4,051,143	5,161,607
<省略>		
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,901	53,923
短期借入金	909,773	1,218,941
1年内返済予定の長期借入金	397,996	393,057
未払金	154,386	216,183
未払法人税等	23,380	31,396
賞与引当金	27,761	22,370
その他	229,506	257,383
流動負債合計	1,787,706	2,193,256
固定負債		
社債	226,800	190,200
長期借入金	1,492,153	1,245,074
その他	211,673	218,957
固定負債合計	1,930,627	1,654,231
<省略>		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,451,382	854,204
売掛金	882,840	2,341,042
商品	248,088	263,865
貯蔵品	8,212	8,323
営業貸付金	1,345,545	1,547,827
その他	150,444	176,605
貸倒引当金	35,370	30,260
流動資産合計	4,051,143	5,161,607
<省略>		
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,901	53,923
短期借入金	907,253	1,127,450
1年内返済予定の長期借入金	602,218	693,523
未払金	154,386	216,183
未払法人税等	23,380	31,396
賞与引当金	27,761	22,370
その他	243,148	376,724
流動負債合計	2,003,051	2,521,572
固定負債		
社債	226,800	190,200
長期借入金	1,277,136	1,027,758
その他	211,345	107,957
固定負債合計	1,715,282	1,325,916
<省略>		

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
	<省略>	
営業貸付金の増減額(は増加)	-	200,427
	<省略>	
その他	70,446	1,144
小計	284,940	1,283,069
利息及び配当金の受取額	1,261	21,831
利息の支払額	4,092	5,632
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	1,919	49,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,852	1,316,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	27,315	48,496
無形固定資産の取得による支出	19,667	12,984
貸付けによる支出	216,198	-
その他	20,973	35,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	284,156	96,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	294,397
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	177,832	334,124
社債の償還による支出	6,250	42,850
リース債務の返済による支出	5,325	5,506
株式の発行による収入	2,560	809,970
新株予約権の発行による収入	-	3,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,152	825,546
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,115	7,298
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	575,971	594,707
現金及び現金同等物の期首残高	1,338,599	1,190,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,627	595,630

(訂正後)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業貸付金の増減額(は増加)	<省略> -	198,721
その他	<省略> 70,446	3,177
小計	284,940	1,283,397
利息及び配当金の受取額	1,261	18,257
利息の支払額	4,092	330
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	1,919	49,316
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,852	1,314,786
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	27,315	48,496
無形固定資産の取得による支出	19,667	12,984
貸付けによる支出	216,198	-
その他	20,973	35,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	284,156	96,768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	298,603
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	177,832	343,305
社債の償還による支出	6,250	42,850
リース債務の返済による支出	5,325	5,506
株式の発行による収入	2,560	809,970
新株予約権の発行による収入	-	3,660
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,152	820,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,115	7,298
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	575,971	598,282
現金及び現金同等物の期首残高	1,338,599	1,186,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,627	587,804

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
現金及び預金勘定	762,627千円	862,030千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	266,400
現金及び現金同等物	762,627千円	595,630千円

(訂正後)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
現金及び預金勘定	762,627千円	854,204千円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	266,400
現金及び現金同等物	762,627千円	587,804千円

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月13日

リネットジャパングループ株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

指定社員 公認会計士 林 寛尚 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 八代 英明 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリネットジャパングループ株式会社の2018年10月1日から2019年9月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年10月1日から2019年3月31日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リネットジャパングループ株式会社及び連結子会社の2019年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して2019年5月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。